

# 岡山プライマリ・ケア学会会報

第四号

平成二十四年五月



## ◆新会長ご挨拶

会長 宮原伸二

日本プライマリ・ケア学会岡山支部は、日本プライマリ・ケア学会が三年前に日本プライマリ・ケア連合学会として再出発したのを機に、岡山プライマリ・ケア学会として独立した学会として設立しました。学術大会は継続としましたので二〇一二年三月に福岡会長の元に第十九回大会を開催しました。前会長福岡先生は、支部時代から本学会の先導者として、また、学会が独立するに当たり大変ご尽力いただきました。

このたび、十九回大会の総会において、福岡先生の強いお薦めもあり私が会長として承認をいただきました。

基本的には、今までの十九年の歴史を踏まえ、岡山の特徴ともいえる多職種連携のもとにプライマリ・ケアの推進をはかっていきます。これら

の活動は岡山県医師会のご協力あつての活動と深く感謝いたします。

二〇一二年は患者、利用者の在宅でのQOL向上をめざすことを中心にして本学会の日常活動を進めたいと思っております。

何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ◆新副会長ご挨拶

副会長 福嶋啓祐

私は、この度岡山プライマリ・ケア学会の副会長を拝命致しました。

昭和六一年に川崎医科大学総合臨床医学教室(Ⅲ)講師となつて以来、今日までプライマリ・ヘルスケアに取り組んで参りました。平成四年に父の医業を継承してからは、町医者立場で多職種によるチームアプローチの重要性を考えながら地域医療を実践しています。岡山プライマリ・ケア学会は、日本プライマリ・ケア学会岡山支部として創立以来、岡山大学青山英康先生、川崎医科大学平野寛先生をはじめとする多くの優秀な諸先輩のご指導・ご尽力及び岡山県医師会・歯科医師会・看護協会等々のご支援のもと、保健・医療・福祉・介護に携わる様々な職種の人々が協力して築き上げたものです。まさに多職種連携を追求してきた歴史があります。

我が国は、今後一層少子高齢化が進み地域包括ケアシステムの構築が急がれます。岡山プライマリ・ケア学会では「連携シートむすびの和」を核として、多職種連携を進め、共に研鑽して地域住民のQOLの向上に寄与する役割があると考えます。先代福岡執行部が強力に押し進められた多

職種連携による学会の運営を、宮原新会長の元でさらに発展させるべく微力を注ぐ覚悟です。皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

## ◆新副会長ご挨拶

副会長 佐藤涼介

この度は伝統ある日本プライマリ・ケア学会岡山支部から新たに福岡英明先生、宮原伸二先生を中心に平成二十一年に立ち上げられた岡山プライマリ・ケア学会に突然、指名を受け、責任ある副会長という役を承ることになりました。今まで決してこの学会に十分な関わりを持つてきたとは言えませんが、これから二年間、宮原会長を支えて、この学会が岡山県下のプライマリ・ケアの発展に貢献でき、多職種連携がますます進展し、学会が充実していけるために少しでもお役にたきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



## ◆平成二十四年度 事業計画

### 一 第二十回学術大会の開催

記念大会とする（二〇一三年三月）

### 二 医療福祉塾

岡山県医師会プライマリ・ケア部会、NPO  
法人岡山県介護支援専門員協会と共催で三か  
所×五回開催（ケアマネ・介護職のための少  
人数の塾）

### 三 研修会

- ・岡山プライマリ・ケア講座  
岡山県医師会プライマリ・ケア部会と共催  
（予定）
- ① 東日本大災害  
―災害医師の報告― 七月
- ② 放射能汚染による災害について 十月

### ・ワークショップ

認知症を在宅で支える その三

### ・プライマリ・ケア実践シンポジウム

地域包括支援等と共催(予定)  
地域包括ケアシステムの実践と課題  
(実践発表と討論) 十二月

### 四 連携シート「むすびの和」普及・推進事業

- ・インターネット活用 の推進
- ・「むすびの和」シート内容決定
- ・モデル地区（浅口、岡山等）で実践（講演会な  
ど含む）

### 五 情報誌（会報）年三回発行

### 六 会員名簿作成とメールの公開

### 七 ホームページの充実（学会、むすびの和）

### 八 岡山プライマリ・ケア学会のパンフレットの 発行

### 九 その他

全国大会、各地方会、研究集会、学習会に  
参加・発表

## ★第十九回岡山プライマリ・ケア学会 総会並びに学術大会の報告

平成二十四年三月二十日、岡山衛生会館五階中  
ホール並びに第一・二会議室に於いて開催され、  
午前十時から福岡英明学会長の挨拶に続き、総会  
が行われ、すべて原案通り承認されました。  
午前十時半からは記念講演「災害と向き合う。  
そして、絆」災害地から学んだ在宅医療の興し  
そして、絆」災害地から学んだ在宅医療の興し



かた」と題し愛媛県松山市のタンポポクリニッ  
ク理事長の永井康徳先生のお話（後記）、午後か  
らは、きもと・まなべ歯科クリニク理事長の真  
鍋るい子先生による、プラクチカル・エデュケー  
ション「摂食・嚥下障害になりそうになつてしま  
った時何ができる」という実践的講話がありまし  
た。

その後は二会場に別れて一般演題、第一会場  
（十一演題）、第二会場（十二演題）が発表され、  
多職種がまじり活発な討論が続き、午後五時にす  
べて終了しました。参加者は約百人でした。

### ★記念講演

「災害と向き合う。そして、絆」災害地か  
ら学んだ在宅医療の興しかた」

タンポポクリニク理事長

永井 康徳 先生

永井先生は東日本大震災の後、いち早く気仙沼  
に入られ、気仙沼在宅支援プロジェクトを立ち上  
げられた。その内容は（一）まず被災後発症した褥  
瘡を治療し、（二）被災地の在宅で困っている人た  
ちのニーズを拾い出し、（三）多職種連携で被災地  
の在宅医療レベルを上げていった。（四）さらに、  
全国の在宅医や訪問看護師、訪問歯科医達がボラ  
ンティアでつなぐ絆プロジェクトを立ち上げ、コ  
ーディネートされた。

その時に重視されたことは、情報の共有に努め  
たことと、診療方針の統一に力を注がれた。さら  
に重要なことは、地元への引き継ぎがスムーズに  
行われることだった。身体障害の認定を行ったり、

訪問看護を強化することにも力を入れた。コーデイナーの秘訣はその地域に必要とされることを必要なだけ支援することである。また地域の医療、介護レベルを上げるための支援であり、被災地のためになる支援をすることが大切だった。

在宅医療の興し方は、ニーズを拾い出すこととシステムを構築することだ。また自宅での看取りがスムーズにいくために必要なことは、介護者に看取りの教育を行い、先の見通しを伝えることだ。また、状況に応じて介護体制を随時変更して介護者、家族の負担を軽減することだ。また癌の末期以外の方で訪問看護を利用しやすくするために重度心身障害を必要人にはしっかりと認定すると医療保険の訪問看護が使いやすくなる。

また、(余命) × (満足度) ÷ (患者の幸せ) という考え方を大切にし、ターミナル期に胃瘻や点滴に拘わらず、必要時には麻薬の使用も積極的に行い、その人の尊厳を保つことを重視した看取りになれるよう努めている。

(佐藤副会長 記)

## ◆会員の声

### ○「岡山プライマリ・ケア学会 第十九回学術大会」に参加して

いずみ薬局

薬剤師 中山 弥生

例年になく寒く厳しかった冬の寒さがうそのような、暖かくうらかな日に、記念講演「災害と向き合う。そして、絆」の永井康徳先生のお話

を拝聴しながら、今年もこうして参加できることに感謝の気持ちが思わず湧いてまいりました。企画して下さった学会スタッフの皆様、発表される皆様、聴衆の皆様が一体となって、当日の会が大盛況に開催されたと思います。永井先生のご講演で、患者さんの幸せ ÷ 余命 × 満足度というお話が印象的で、翌日からこれを念頭に置いて患者さんに接するようにいたしました。また、災害地での支援は、日頃から我々自身がどのような場ではなかったかと感じました。

今回も学会に参加して、このように多職種の皆様が一堂に会し、お互いの苦労や努力を語り合い、成果をとともに喜べる場があることを、本当に素晴らしいと感じました。今後、災害にかぎらず、皆さまと供に手を携えて様々な困難を乗り越えて行ければ嬉しいと思いました。



## ◆関連団体の紹介

### ○岡山介護支援専門員協会の紹介

二〇〇〇年(平成十二年)四月新たな社会保険制度として介護保険制度がスタートし、介護支援専門員(ケアマネジャー)が産声を上げました。介護保険制度創設当時より岡山県下各地域で介護支援専門員の会が起こり、その個別の会がまとめて設立されたのが二〇〇一年に発足した岡山県介護支援専門員連絡協議会です。その後、特定非営利活動法人(NPO法人)を取得して二〇〇六年五月に発足したのが今日の介護支援専門員の職能団体であるNPO法人岡山県介護支援専門員協会となります。

協会として「介護支援専門員の資質の向上・業務改善・技術向上に関する研修会の開催事業」「介護支援専門員の業務遂行に関する情報提供事業」「市民に対する介護保険啓発事業」等で幅広く事業を行っておりますが、現在、協会のホームページを大幅にリニューアルし、一般の方にもご利用いただくべくご自宅近所の介護サービス事業者が便利に検索できる「事業者マップ」を設定致しました。介護支援専門員のみならず、幅広い方々にご利用いただけるホームページですので、ぜひご覧いただきたいと思えます。

また、平成二十四年度より弁護士をお招きし、介護事故に対する法的対処の事例検討会を開始しました。弁護士と介護支援専門員が事例や対処例をまとめいくことで、介護現場で起こる不安や問題の対応方法の確立を目指しています。

制度当初より「制度の要」と言われた介護支援専門員ですが、国民に介護保険制度が浸透するに

つれ、その職名は一般の方にも広く知られるようになり、今日に至ります。その知名度に恥じぬよう岡山県介護支援専門員協会の会員は、専門性を主張できる介護支援専門員となるよう日々の研鑽を行って参ります。

### NPO法人岡山県介護支援専門員協会の目的

「一般市民に対して、介護に関する情報を提供するとともに、介護支援専門員の資質向上、倫理向上を確立し、かつ介護支援専門員に対して専門的技術の研鑽を目指し、ひいては要介護者及び家族の生活と権利の擁護、介護保険業務に関する事業の適正な運営に寄与することを目的とする。」

#### 住所・連絡先

〒700-0817 岡山県岡山市北区弓之町二の九

弓之町ビル八一〇号

TEL:086-222-1030 FAX:086-222-1039

http://www.npo-ocma.org/

## ◆今後の研修会等の予定

### ◎第一回プライマリ・ケア講座（下段参照）

日時 七月七日（土）午後二時～

場所 岡山衛生会館 五階 中ホール

### ◎ワークショップ（認知症を在宅で支える）

日時 九月二十二日（土・祝）午後二時～

場所 岡山衛生会館 五階 中ホール

### ◎第二回プライマリ・ケア講座

日時 十月二十日（土）午後二時～

場所 三光荘 アトリウムホール

### ◎実践シンポジウム

日時 十二月一日（土）午後二時～

場所 岡山衛生会館 五階 中ホール

## 平成二十四年度

### 第一回 岡山プライマリ・ケア講座

平成24年度第1回 岡山プライマリ・ケア学会講座

#### 千年に一度の巨大津波に遭遇して

宮城県南三陸町 医師 本田剛彦 先生

東三陸町で東日本大震災から生き残った被災避難民の体験、被災こと、感じたこと、教えられたこと、学んだことを語っていただく。本会は活動にむけ、東日本大震災・東三陸町震災について、その現実の理解と対応について学ぶ。

7月7日(土) 午後2時～4時  
岡山県衛生会館 5階 中ホール



参加費無料 会場にて救済支援の基金を受付けます。当日入金の受付も行います。

【参加申込】 岡山プライマリ・ケア学会 FAX 086-271-1572

参加者氏名:		
職種:	学会員:	有 無
連絡先:電話:	FAX:	

主催 岡山プライマリ・ケア学会  
岡山県医師会岡山プライマリ・ケア学会

## ◆入会のご案内

★申込書は、HPからダウンロード出来ます。

http://www.p-care-okayama.com/

### 岡山プライマリ・ケア学会入会申込書

岡山プライマリ・ケア学会  
会長 宮原 伸二

日本プライマリ・ケア学会が平成21年に日本プライマリ・ケア学会会として再出発したのを機に、日本プライマリ・ケア学会岡山支部は、岡山プライマリ・ケア学会として独立しました。基本的には、今までの19年の歴史を踏まえ、岡山の特徴ともいえる多職種連携のもとに推進いたします。これらの活動には、岡山県医師会から多大のご協力を得ています。

#### ◎具体的な活動

1. 学術大会（平成24年度は第20回記念大会を実施）
2. 多職種多団体との連携
3. 認知症を地域で支える方策と実践活動
4. 在宅療養に有効な連携パスシートの普及【連携シートむすびの和】
5. 医療福祉誌

詳細は、ホームページをご参照ください。「岡山プライマリ・ケア学会」で検索。



年会費：医師・歯科医師・薬剤師：5,000円  
その他：2,000円

#### 【新規会員申込書】

申込者氏名:	職種:
連絡先:(〒) 住所:	
電話番号:	FAX:

申込先:岡山プライマリ・ケア学会 FAX:086-271-1572

◎どなたでも入会出来ます。◎入会は随時受け付けます。

## 編集後記

今年も早々から遅い春・竜巻などの異常気象が続き、この一年も何かを予感させます。こういう時にこそ、一人でも多くの人のつながりを広げていきたいと思えます。

当学会役員も四月から新メンバーとなり動き始めました。編集委員は同じメンバーですが、できる限りフレッシュな感覚の紙面作りを目指していきます。

今年もむすびの和の普及事業をはじめとして様々な企画を多くお届けする予定です。引き続きご支援ご協力をよろしく願います。

#### 編集委員

丸田 康代

菅崎 仁美

河原 喜美恵



#### 編集発行

### 岡山プライマリ・ケア学会 事務局

TEL 703-8522

岡山市中区古京町一ー一十

(岡山県医師会内)

TEL: 086-272-3225

FAX: 086-271-1572